

【EPSON 21・22・23 詰め替え手順】

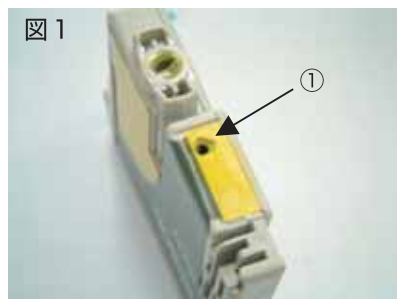
このカートリッジは、EPSONの旧一体型カートリッジを採用している機種や他のメーカー(CANON・hp等)のカートリッジの構造と異なります。カートリッジ内にバルブを設けているタイプですので、このバルブ付近に空気が入り込むと正常に印刷が出来ません。空気の干渉を極力抑えるのが成功の秘訣です。

【必ず用意するもの】

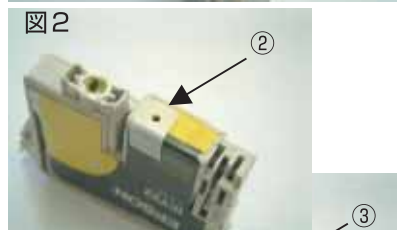
- ① ICチップ再生機(オールインワン)
- ②ピストンスポイト10cc
- ③ゴム製蓋
- ④詰め替えインク各色10cc以上
- ⑤中抜き角テープ
- ⑥スポイト補助具

【詰め替え方法No.1】

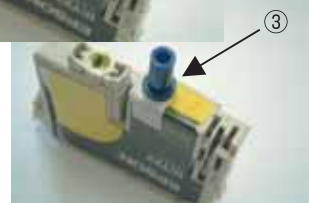
1. 図1-①の場所に薄っすら見える丸型の部分にカッター等で穴を開けます。



2. まず、中抜きシールを台紙から剥がす前に穴をくり抜いておきます。図1-①の穴に中抜きシール(図2-②)の穴を合わせて貼り付けます。

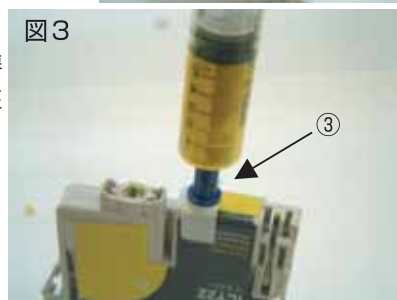
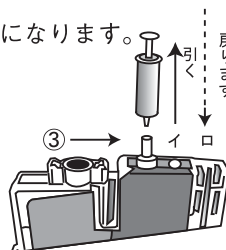


その後、シールは両面テープになってますので、スポイト補助具(図2-③)を貼り付けて下さい。



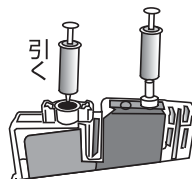
3. 10ccのピストンスポイトにインクを約半分入れ図3-③にスポイトを入れ、ピストンを引き空気を強制的に抜き、そのまま手を離して下さい。空気を抜くことにより自動的にゆっくりとスポイト内のインクが補充されます

2～3度程同じ事を繰り返すとほぼインクが一杯になります。



4. 図3にてインクを補充したら、インクの噴出し口からもう一本のスポイトを差込み、インクを1ccほど引きます。(図4)カートリッジのバルブ付近にインクを強制的に引き込むための作業です。また、バルブ付近にたまっているかもしれない空気を抜き取る意味合いもあります。

※この工程を省いてもかまいませんが、空気の干渉により印刷がきれいに出来ない場合もまれにあります。



5. 最初に空けた穴の付近を良くふき取ります。ふき取った後に付属のゴム栓にて空けた穴をふさぎます。(図5-④)

穴を保護しているビニールカバー自体の粘着性が弱って剥がれかけている場合は、その部分をはさみで切り落とします。

その後、ICチップを付属のオールインワン(ICチップリセッター)にて初期化をしてください。

粘着性が弱っていて剥がれそうな場合はこの部分をはさみで切り落とす。

